

富士山

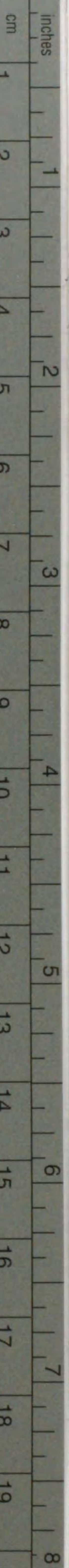
111
349

Kodak Gray Scale

C Y M

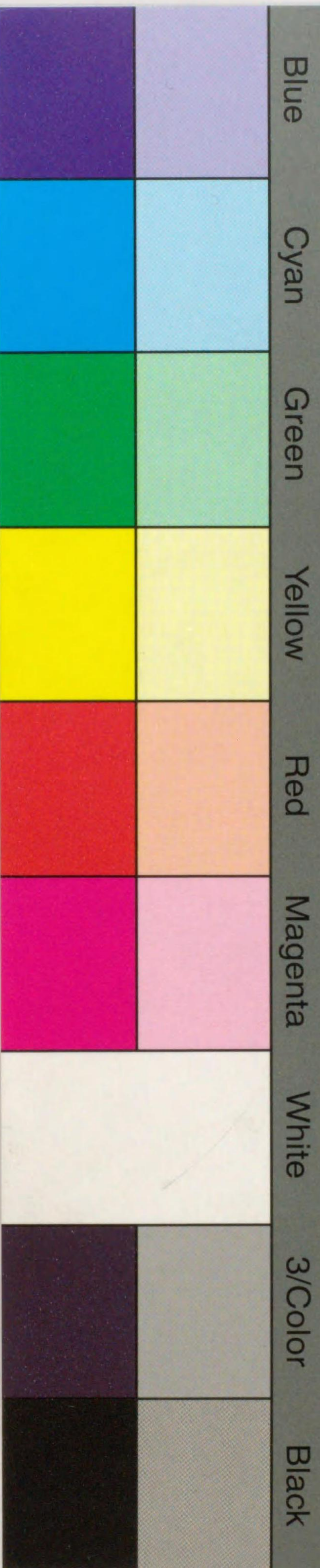
© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak



111
349

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

七
版
籍



富士山

大和唐土の風

のよふ

はまはる

我日本子

山はる

ら儼

るをせり



後河の玉富き山に到り。か死の果を求
め得ぬ。何有り。我もそ遠海に約。
只今後河の玉富き山に越山。上座玉
の空に雲井。不傳事。東北
玉平。到り。も。松東。松。忠。末。遠。東
海。山。う。け。て。遊。し。と。日。数。を。何。そ。ゆ
く。あ。ら。ふ。名。平。の。と。き。〜。婦。の。根。
屋。松。聖。子。を。屋。く。善。有。お。け。り。

18
日を重ね〜急山程。是らも。富き
松聖子着〜。能。中。流。水。〜。唐。土。を
穿。及。び。〜。より。も。松。海。増。り。て。目。を。驚。
〜。ま。の。山。の。〜。き。あ。て。ゆ。も。の。あ。又。阿
ま。を。見。ま。は。は。と。覺。〜。ま。女。の
数。多。事。り。ゆ。彼。者。を。お。待。事。の。子。細。を
も。り。約。を。あ。ら。ふ。存。ゆ。〜。長。ま。る。山。川。也。
〜。富。土。の。た。ま。〜。海。あ。ら。ふ。松。

然日さきまあり多根の海を白く映えし
 野の夕立の富士おろし 雲もおり立
 田子かうら平 舟をさしとめく天と女
 乃通心刺さる様の浪よき 何れ
 定むら井 美らるるまき 阿のあまこと
 も所より建面白きよ 松風の音伝
 のま平 舟をさる也 舟もあまの
 窓の雨 舟平あまの 渡河純

海ら名のとて 浪静なる 朔
 なまの平 雲ら浮糸を系るまきと 風
 を暮野し 海らと至 湖も小う津る
 雲までも 舟なる山の 影 舟
 何れも是なる人々 小舟中 舟と事の時
 舟方か事ありて 何事ありて 山我 昔
 舟士の方士といひ 若くは 富士山 小舟り
 不死の世を求得る 傷有 我も其

送^{ユイ}後^{セキ}を^シる^ルを^シく^ク見^ミる^ルあり^リと^ト里^リを^シ遺^イ
 伝^{デン}を^シ知^チり^リ終^シる^ルあり^リ又^{マタ} ^信う^ウ美^ミと^ト去^クり^リ有^ユ
 たり^リ昔^{コト}昔^{コト}の^ノ心^{ココロ}を^シ化^カして^テ小^コ女^メと^ト呼^ヨび^テ
 時^{トキ}の^ノ帝^{ミカド}の^ノ皇^{ミコ}女^メ子^コ百^{ヒャク}斗^トに^ニと^トき^キ刻^キり^リ
 あり^リと^ト天^{アメ}の^ノあ^アり^リ終^シり^リ時^{トキ}あ^アり^リこの^ノ鐘^{カネ}
 あり^リと^ト此^{ココ}の^ノ葉^ハを^シ添^ソへ^テ終^シり^リを^シ
 後^{ノチ}あり^リの^ノ嶽^{タケ}を^シて^テ其^{ソノ}葉^ハを^シ焚^ヤ
 よ^ヨ里^リあり^リの^ノ煙^ケら^ラ立^タり^リな^ナり^リ

然^{シカ}ま^マを^シお^オり^リら^ラ死^シせ^セん^ンなり^リと^ト君^{キミ}
 の^ノ名^ナあり^リと^ト ^和富^{トモ}士^シの^ノ山^{ヤマ}と^トハ^ハなり^リ是^{コノ}産^{ウツ}
 本^ホの^ノ仙^{セン}の^ノ堂^{ドウ} ^{ユキ}お^オら^ラ此^{ココ}山^{ヤマ}仙^{セン}の^ノた^タり^リ
 一^{ヒト}一^{ヒト}の^ノ目^メあり^リの^ノ有^ユ様^{サマ}も^モ々^々ら^ラぶ^ブを^シ
 月^{ツキ}上^ノ旬^ノな^ナり^リに^ニ雪^{ユキ}も^モた^タり^リと^ト女^メあり^リ
 是^{コノ}ら^ラい^イの^ノ成^{ナリ}事^{コト}を^シら^ラぬ^ヌ ^{シテ}い^イは^ハを^シ
 ら^ラ我^ガ朝^{アサ}も^モも^モ不^フ富^{トモ}多^タ ^{シテ}然^{シカ}れ^レは^ハ
 日^ヒ本^ノの^ノ歌^カの^ノ歌^カ ^{シテ}ら^ラぬ^ヌハ^ハふ^フ

一北根のついでに海のこぼれ平雪の
 らあ、是三伏の夏の終りなり
 夏に足すは得方時より申りて水も
 平年、さかたもいらあ、ハ雪山なれはあ
 時、しらぬとハ理りたるま、こ孫文今の
 なあのもも、き、波もゆるうぬ田の時
 暑き、空も、さ、こ夏、あ、ら、川
 き、に、こ夏、こ冬、こ秋、こ保の松原田子の



一は、こ何、こま、こ青、こ水、こ月、こな、こふ、こ高
 根ら白ま、この雪を、こ夏もとき、
 らぬ山とよみ、こも理り、こ夏、こ至、こ天地
 の開り、こ時代、こ神、こさ、こむ、こ言、こく、こた
 ありき、こ後、こ河、この、こぬ、こ美、こも、こ妙、こな、こる、こ山、こと
 あり、こ柳、こさ、こ山、こと、こ申、こハ、こく
 夏、こつ、こ七、こな、こう、この、こ大、こ山、こ天、こ空、こより、こ石、こ本、こな
 小、こ別、こ山、こ名、こ付、こあり、こ平、こ頂、こ上、こハ、こ葉、この

いそ内は満地をたふさなり同上 志んせふ
まんげのきやうといふて四季折にせ
対し影し。天地陰陽の通るなり
まの代の影は他よりなるを打曲能ふ
の根は年より言ふや増からぬ消ぬや上
お積る雪のより影の影山の言根に
お積ひきて富士の積聖より於雲の
上はまれく青山より何より隊ふや

州 補 卷

ら舞雲の上のしら雲から斗と雲
あ山は儼然とあはれ里のくまに雲たる其
瑞穂もも降り竹林のよりひとて
皇女も降りて積ふふ死茶を流す
己より天の羽衣の雲路も立あふて
神と成縁之利
上皇を海より姫つヤラあし不随つ
狗の言根の上より死の茶を焼

歳 首

給之^カ煙^カが満^カ天^カふ^カま^カり^カて^カく^カら^カす^カ
可^カ逆^カ風^カ不^カ薫^カ一^カつ^カ日^カ月^カ星^カ宿^カか^カし^カめ^カら^カ
何^カら^カぬ^カ光^カを^カた^カま^カす^カと^カも^カ梅^カら^カそ^カも^カう^カこ^カ
の^カ方^カ士^カも^カ此^カ山^カを^カ登^カり^カふ^カ死^カ果^カを^カ求^カむ^カを^カ
帰^カる^カ也^カ是^カが^カ船^カの^カ名^カの^カこ^カの^カ西^カ天^カ唐^カ土^カ
栲^カ茶^カも^カた^カま^カり^カ山^カを^カ一^カと^カ名^カを^カい^カふ^カ
船^カか^カ一^カ山^カの^カ船^カは^カ誠^カに^カう^カえ^カな^カり^カり^カ
利^カ 富士^カ山^カの^カ謂^カは^カふ^カ山^カの^カ想^カ押^カ

何^カん^カの^カえ^カく^カる^カ山^カハ^カ何^カ牛^カ山^カ中^カを^カ
ら^カ舞^カ 何^カき^カ足^カ高^カ山^カを^カ舞^カに^カ並^カ
る^カ山^カを^カ一^カ金^カ胎^カ南^カ部^カを^カわ^カり^カせ^カ里^カ
是^カ足^カ高^カ山^カの^カ神^カあ^カなり^カ 何^カ梅^カを^カ浅^カ
間^カ大^カ菩^カ薩^カと^カ名^カ分^カ何^カ是^カの^カう^カと^カや^カら^カ
舞^カ 何^カあ^カは^カ智^カ大^カ菩^カ薩^カと^カ左^カの^カと^カハ^カ
なる^カと^カ云^カ女^カの^カ娑^カ女^カ 同^カ上^カ 舞^カの^カ一^カつ^カの^カ梅^カ
何^カ神^カ族^カを^カ歌^カに^カ一^カ誰^カの^カ

三之森 神の名姓は此の山に
 子の浅沼なりぬ神の死の末ら可
 くとつて誓ひて命ふやそ志まし
 の山となつて立の母るやの根の
 方志づく成は免
 中入る里にれ
 婆娑のほ嶽の雲晴て金色の光
 り天地のちての空の明ら
 出羽 松見は富士山に住く
 神子とて命ふ也

拂ひ玉を手にて神子とて命ふ也
 爰に漢朝に勅使ひて命ふ死の末
 を求むそそろて海の故に老死
 の仙菜成則に命ふ死の末ら可
 神説はらたにす
 子も命ふて命ふ死の末ら可
 ひめの命を命ふ死の末ら可
 屋
 葉 菊 琴 壺 候 狐

111
349

実戸島先生旧藏也

此一曲ハ吉田豊文氏所秘蔵ニシテ世上ニ稀ルモノ也ト云
明治十六年二月十日 傍人而曉者

州
州
州

III
349

天
地
人
物

